

2026年(令和8年)7月24日(金曜日)



出展企業の担当者から説明を受ける生徒
(秋田職能短大)

大館で情報交換会

ハローワーク大館・鷹巣、県北秋田地域振興局、大館市、大館北秋雇用開発協会の主催。地元就職促進に向け、企業を知ってもらう機会にしようと毎年開いている。これまでは地元就職を希望する生徒向けに行っていたが、将来を見据えて人材確保につなげるため、進学希望の生徒なども対象にした。地元

の短大の周知も兼ねて、会場も中央公民館から変更した。大館市を中心に建設業、製造業、福祉業、小売業、警備業などの47事業所が出展。短大内の8カ所に分かれてブースを設け、担当者がモニターやタブレットを使ったり、実際の製品を見せたりしながら業務内容を説明した。社内イベントや社内の雰囲気などを詳細に紹介する企業も。「髪型や容姿は自由」スポーツレクリエーションや社員旅行などの行事はもちろ

来春高卒就職

将来見据え人材確保を

進学希望者も
対象に追加 107人に47社がアピール

来年3月に高校を卒業予定の生徒を対象にした求人求職情報交換会が23日、大館市の秋田職業能力開発短期大学校で開かれた。今回から進学希望、県外に就職希望の生徒も対象に加え、大館市、北秋田市、能代市から例年を上回る107人が参加。出展企業から業務内容などについて説明を受け、理解を深めた。企業側は若手人材の確保に向けてアピールした。

った。社会や人の役に立つ仕事をしたい。求人票をしつかりと見て「選びたい」と話した。ハローワーク大館の小笠原洋行所長は「将来も地元で働くイメージを持ってほしい。2〜4年後を見据え、地域の人材確保につながれば」と述べた。22日には北秋田市でも開催。32事業所が出展し、生徒72人が参加した。求人票の受け付けは6月1日から始まった。企業による採用選考は9月16日に解禁される。